

記入日	年度当初 7月1日 / 年度末 3月 日
氏名	古川 礼子
子ども学科	准教授
学科以外の兼務職	

ティーチング・ポートフォリオとは、責務、理念、方法、成果、目標の5つの要素を含む教育研究業績について記録した資料です。年度当初に責務と理念を記入し、年度末に方法、成果、目標を記入します。本学では自己点検も兼ねています。

ティーチング・ポートフォリオは、本学の全専任教員が記入後、所属学科長に提出することとします。その後、学科長、学長等にてティーチング・ポートフォリオの内容の把握を行い、教育課程における教育力の質の向上に活用します。その際、自己点検・評価委員会やFD委員会等の関連する委員会や部署と連携することとします。

1. 責務（何を行っているのか）

①担当科目

担当科目名	学科	学年
保育者論	子ども学科	2年
保育の計画と評価	子ども学科	2年
保育実践演習	子ども学科	2年
教育実習指導（幼）2子	子ども学科	2年
教育実習（幼）	子ども学科	2年
教育実習Ⅱ	子ども学科	2年
教職実践演習（幼・小）	子ども学科	2年

②担任制度

担任（2年生）	有
---------	---

③委員会活動

運営協議会		SD委員会	
研究倫理委員会		地域連携委員会	
危機管理委員会		入学者選抜委員会	
自己点検・評価委員会		広報委員会	
認証評価準備委員会		高大接続・連携委員会	
図書委員会		保育・教育実習運営委員会	委員
学生委員会		ハラスメント防止委員会	
障害学生支援・学生サポートセンター運営WG		教員資格審査委員会	
キャリア支援委員会	委員	教員採用選考委員会	
教務委員会		湖国カルチャーセンター運営委員会	
FD委員会		授業料等減免者審査委員会	
奨学生奨学金審査委員会	委員	紀要編集委員会	
学生調査委員会		教職実践演習運営委員会	委員
教学調査委員会		学長推薦選考委員会	委員
不正調査委員会		衛生委員会	

④実習業務

保育実習部会長		小学校部会長	
幼稚園実習部会長	担当	子ども学科 実習事務	

⑤外部資金獲得に伴う研究活動

外部資金獲得	無
助成者	
資金名	
研究種目	
期間	
助成金額（期間中合計）	
研究課題	
備考（分担者等）	

2. 理念（どのような考えに基づいて行っているのか）

教育理念	学園創設者松本富士之助「教育は人にあり、国家の未来は教育にかかっている。教育の向上には、まず、教育者の養成が重要である」
建学の精神	「知育」・「徳育」・「体育」の鼎立と調和の取れた人間形成
学科の教育理念・目標	【子ども学科】 幅広い知見と豊かな教養を備え、子どもに関わる専門的な知識・技能と実践力を修得し、向上心や探究心をもって保育・教育の分野に広く携わることのできる人材育成すること
個人の教育理念・目標	・保育士や幼稚園教諭の職務に必要な専門的知識や技能を習得させながら、模擬保育の中でも振り返りを重視し、多面的に物事を考える力や自ら改善点を見出す力を育成する。 ・計画どおりにいかない時こそ、子どもの姿や状況に応じて、臨機応変に対応できる実践力の向上を図る。 ・子どもの人権を尊重し、子どもの心の声を聞き取り、一人一人の子どもの最善の利益を追求する保育者を養成する。 ・保育者は、組織やチームで協働していくことが必要不可欠と考えることから、グループワーク等を通し、コミュニケーション力の向上を図る。 ・多様な背景をもつ子どもの保護者支援について、家庭背景の多様性や子どもの発達や特性の理解などについて、基礎知識を高めることを通して個別対応力の向上を図る。

3. 方法（その考えをどうやって実現しているか）

授業	
授業以外 （学生支援等）	

4. 成果（その方法を行った結果、どうだったか）

授業	
授業以外 （学生支援等）	

5. 目標（今後どうするか）

授業	
授業以外 （学生支援等）	

6. 記載内容に関する根拠資料

- | | | |
|--------------|----------|-----------|
| ①令和8(2026)年度 | 滋賀文教短期大学 | シラバス |
| ②令和8(2026)年度 | 滋賀文教短期大学 | 科目別成績分布状況 |
| ③令和8(2026)年度 | 滋賀文教短期大学 | 担任一覧表 |
| ④令和8(2026)年度 | 滋賀文教短期大学 | 委員会構成名簿 |
| ⑤令和8(2026)年度 | 滋賀文教短期大学 | 組織図 |

以上